

令和5年8月理事会 議事録

令和5年8月27日午後9時02分、一般社団法人 gid.jp 日本性同一性障害と共に生きる人々の会、ビデオ会議システムを使い、以下のような出席状況のもとに理事会を開催した。なお、下記議案につき可決確定の上、午後9時49分に散会した。

理事	永沼 利一（代表）	出席
	倉嶋 麻理奈（副代表）	出席
	上田 直志	出席
	日野 由美	出席
監事	明石 和也	
正会員	西野 明樹	出席

永沼 利一 は、議長及び議事録作成者となり、本日の理事会はビデオ会議システムを利用して行う旨を述べ、出席者が一堂に会するのと同等に適時・的確な意思表示が互いのできる状態となっていることを確認した。

報告事項

1) 谷合規子氏からの質問に関する件

永沼代表より、コロナによる当事者への影響について、『性同一性障害—3.11 を超えて』の著者である谷合規子氏から質問がきているが、ころあたりあるかと投げかけられた。倉嶋理事からは、コロナ中も可能な限り交流会を開催したがコロナの影響という形で困り事が話されたことはなかったことが話された。上田理事からは、“交流会に来て本当に当事者っているんだと思いました”という感想をもらったことが話された。他の出席者からは特段のころあたりないことが返答された。

2) 取材対応に関する件

永沼代表より、8月4日に信濃毎日新聞より健康保険証のマイナンバーカード一体化に関する取材を受け、券面からの性別欄削除を求めていることを話した旨が報告された。

3) 九州レインボー2023に関する契約締結に関する件

永沼代表より、九州レインボー2023の出展について、協賛契約を締結した旨が報告された。

4) 特例法手術要件に関する最高裁判決に関する件

永沼代表より、特例法手術要件の違憲判断について9月ごろに判決が出る見込みであること、これについて東京交流会で大きな話題になったことについて報告された。生殖要件が違憲で外観要件が残った場合、FTM当事者は内性器摘出が不要となる一方で、MTF当事者は外性器切除が必要となり、FTM当事者とMTF当事者とで立場が変わってしまう懸念があることが表明された。各理事も意見を述べ、これについて、理事会で審議等していくことを共有した。

第1号議案 北陸交流会の開催について

永沼代表より、問い合わせフォームに北陸地方在住の当事者から交流会開催を求める連絡が来ていることが説明された。正会員の西野は永沼代表に求められ、従前は金沢大学を会場にして行っていたこと、現在は理事会預かりになっていること、交流会開催・運営を管理監督できる北陸在住の正会員はいない、前回理事会で開催した際には上田理事が担当して5名程度の参加者があったこと、その際は事前申込必須として最少催行人数を3名に設定したことを説明した。

永沼代表より、北陸交流会の開催可否について理事等に審議を求めた。開催については全会一致で承認可決されたが、永沼代表より、会場確保等について現地在住者の協力を得なければ実現が難しい旨が付言された。協議の結果、会場確保等について問い合わせ者から協力が得られた場合、永沼代表が担当して開催することが決定した。

次回理事会の開催日時

次回理事会は、令和5年9月24日（日）21時から開催する。

以上の決議等を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び出席理事並びに出席監事がこれに記名押印する。

令和5年8月27日

一般社団法人 g i d . j p 日本性同一性障害と共に生きる人々の会理事会

議長 代表 永沼 利一

副代表 倉嶋麻理奈

理事 上田 直志

理事 日野 由美

監事 明石 和也

以下余白